

遠隔社会見学を実施しました

11月1日に株式会社沖ワークウェル主催の遠隔社会見学を、校内で実施しました。この遠隔社会見学は、障害のある特別支援学校の生徒に対し、日本各地の名所等を専門家の協力のもと、分かりやすく伝え興味関心を深めることと、社会で活躍する企業の取り組みや、働く人々の想いを伝え、今後の進路や生活について考えるきっかけ作りの場を提供することを目的に行われています。今年は、香川県小豆島にあるオリーブ公園を見学先とし、日本全国の特別支援学校26校が参加しました。高等部からは、職業コースの生徒2名が参加しました。

今回の見学では、日本のオリーブ発祥の地である小豆島で、オリーブの栽培や歴史について学びました。公園の方から、オリーブの木の種類や、オリーブオイルができるまでの工程について、詳しく説明していただきました。子どもたちは、画面越しに広がるオリーブ畑の緑や、実をつけたオリーブの木に、興味津々の様子でした。

また、見学の中で行われたオリーブを使った製品や料理の紹介、オリーブにまつわるクイズに対し、説明を熱心に聞いたり積極的に答えたり、意欲的に参加する様子が見られました。



見学後は、参加各校で事前に作成したオリーブの種を使った創作品を見たり伝えたりする交流活動が行われました。本校は袋の中にオリーブの種とアロマオイルを入れた「オリーブボール」を作り、肩や腕に当てるとオリーブの種の程よい硬さで気持ちが良いこと、お湯につけてから当てると付けた香りがより漂って癒される、オリーブの種の心地よい感触がずっと触っていたくなるなど、自分たちが作った「オリーブボール」の良さを全国の参加者へアピールしていました。

今後もこのような学習活動を通じて、児童生徒の興味関心を広げたり探求心を育んだりしていきたいと思います。



就労セミナーが実施されました！

11月18日(月)に、伊豆の国特別支援学校で就労セミナーが開催されました。今回のセミナーでは、マックスバリュ東海株式会社の障害者雇用担当の方に御講演いただき、同社に所属されている特別支援学校の卒業生の方から、働く喜びや大変さなど仕事に関することや仕事以外の生活面や余暇についてなど社会生活の体験談をお話いただきました。

お客様対応やパンの製造補助、品出しなど実際に働いている動画も流れ、小売販売業（接客業）についての理解を深めることができました。



感想

- マックスバリュ東海の採用者数が知的障害者の方より身体障害の方がおいことにおどろきました。
- いつでも相談出来る環境をつくっていきたいと思いました。
- 印象に残っていることは、特別支援学校の卒業生が言っていた「ミスはけいけんのひとつ」という言葉を聞いて、働いている人だからこそ言えることなのかなと思いました。
- 働き始めると、運動量が減ったと言っていたので、私も体力づくりを頑張ろうと思いました。